



東北電友会会報

80号

平成29年
1月発行

祝 80号発行記念特集号



〈表紙写真の紹介〉

躍動の飛び立ち

写真提供／盛岡電友会 加藤茂さん（撮影者コメントはP82へ）

I NDEX

ごあいさつ 1	各地区電友会だより 11
NTT東日本 宮城事業部 岩手支店長	
支部長メッセージ 岩手支部長 2	祝 80号特集ページ 62
NTTグループ東北だより 3	会員リレーコーナー 76
震災コーナー 4	でんでんみちのく川柳コーナー 80
賛助会員企業様コーナー 6	NTT東日本から退職者の皆様へ 81
東北地方本部だより 9	編集後記 82

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 宮城事業部
岩手支店長

栗田 均



新年あけましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。

東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年、着任間もない8月末に台風10号が岩手県に上陸し、これに伴う豪雨等により岩泉町をはじめとする沿岸部が甚大な被害を受けました。そして、NTT東日本の通信設備も数多くの中継ケーブル等が損傷・流出するなどの被害を受け、これにより多くの地域で通信の孤立が発生する事態となりました。

その復旧にあたっては、岩手支店の社員はもとより、宮城事業部をはじめとする各支店、グループ会社、関連会社の皆様からご支援をいただき、不眠不休で作業等に取り組んでいただいた結果、早期に応急復旧及びお客様対応を完了させることができ、お客様へのご不便も最小限にとどめることができました。

現在も「つなぐ」という使命の下、会員の皆様がこれまで築きあげてきたお客様にとっての「安心・安全・信頼」というNTTブランドを守るべく、全力で本格復旧に取り組んでいるところであります。

また、東日本大震災から間もなく6年を迎えようとしています。新たな「復興・創生期間」に入ったとはいえ、復興への取り組みは依然として道半ばの状況ではありますが、東北事業部としては、津波被害からの復興と新たな街づくりに向けた通信ビルの移転も昨年には完了しその基盤が整ったことから、今後はより一層「地域に寄り添い、地域を豊かにする、ICTを活用した新たな街づくり」に積極的に関わっていくことで、被災地域の創生に貢献してまいります。

さて、NTT東日本グループでは、変化に対応し持続的に成長していくため、2015年度より中長期的な経営方針を策定し、コスト効率化や生産性向上を図りつつ、付加価値の高いビジネスの立ち上げにより安定的な利益を確保する「利益重視の経営への転換」、事業の中心をビジネス市場や光コラボレーション分野へシフトする「事業構造の変革」を推し進めています。

宮城事業部においても、この達成に向けて東北の全社員が一丸となって必死に取り組んでいるところであり、NTT東日本の2015年度決算における2年連続での過去最高益更新に貢献するとともに、自らも3期連続での黒字も手に届くところまできており、着実にその成果が現れてきています。

今年度も残り少なくなってきましたが、「チーム東北全員の方で“東北を前へ”」の2016年度スローガンのもと、全社員がベクトルと歩調を合わせ「変革」に積極的にチャレンジしこれを「加速・進化」させることで、今年度の事業目標の達成、更には将来にわたって揺るぎないチーム東北を目指してまいります。

最後になりますが、会員の皆様にはこれまで同様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、東北電友会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



岩手支部長

澤田 俊夫

28年の台風10号は、歴史上初めて本州の三陸沿岸に上陸し、川の氾濫による家屋への浸水や土砂崩壊による道路寸断など、甚大な被害と爪痕を残して北海道へ抜けて行きました。特に、岩泉町のグループホーム「楽ん楽ん」で9名のお年寄りが水害で亡くなられたとの報道は記憶に新しいところです。

東日本大震災の津波被害にあった宮古、岩泉、久慈地区の電友会会員で床上・床下浸水の被害に遭われた方が6名おられました。東北地方本部とも相談のうえ被災者の方に、お見舞を兼ねて宮古・岩泉地区は宮古電友会の八木会長が、久慈地区は盛岡電友会長の澤田と工藤事務局長、友人代表の3名が訪問して見舞金を手渡ししてまいりました。久慈の会員方の家屋は、床上浸水で床下に汚泥が残る2階で何とか生活されておりましたが、冬期を迎え改装するにも市内で800軒の家屋が改修待ちで、市内の大工さんが不足しているとのことでした。

4月の熊本地震では、電友会本部が音頭を

とり全国的に義援金を募り、会員被災者に対し支援を行ったところとす。最近も鳥取で震度6弱の地震が発生し、いっどこで誰が被害に遭わないとも限らない状態です。
このような時こそ、電友会の存在を再認識し、何らかの時は全国の仲間が温かい手を差し伸べてくれるという安心感を感じて被災地を後にした次第でした。



ntt.com

NTT Communications
Transform. Transcend.

**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

◆NTTグループ東北だより

◎社会貢献活動紹介

NTT東日本宮城グループは、社会貢献活動の一環として、環境への貢献だけでなく、東日本震災により被災した海岸防災林再生に向けた取り組みとして、東松島市における「みやぎの森プロジェクト」や気仙沼大島の「海岸林再生プロジェクト」として植樹活動を行っており、平成28年においても電友会の皆様のご協力のもと活動を行うことが出来ました。



<海岸林再生プロジェクト（気仙沼大島）>平成28年7月
NTTグループ社員、電友会会員など約60名が参加し下草刈りを実施しました。



<みやぎの森プロジェクト（東松島）>平成28年10月
NTTグループ社員、電友会など約150名が参加し5,000本の「クロマツ」の苗を植樹しました。（平成27年は65名で1,750本を植樹）

NTT東日本宮城グループは、継続した社会貢献活動を行ってまいりますので引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

◎スポーツクラブ後援会情報

日頃よりNTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力を頂き、「東北マークス（ベースボール・バドミントン）」に対し物心両面でのご支援、ならびにご声援を賜り、誠にありがとうございます。

東北マークスの選手たちは、NTTグループ各社をはじめ、さまざまな企業に所属しており、各自の時間をやりくりしつつ、皆様の

ご期待に応えるべく、鍛錬を重ねています。各クラブの今シーズンのこれまでの主な成績については、ベースボールクラブは都市対抗野球大会（東京ドーム）では企業チームを破るなどの活躍を見せましたが惜しくも2次予選敗退。クラブ野球選手権大会（西武プリンスドーム）については宮城県予選敗退となりました。来シーズンでの出場を目指し頑張ってください。

バドミントンチームは、10月に開催された「いわて国体」に宮城県代表として「堀川・鈴木・佐伯選手、諸多監督」が出場し、宮城県成年男子では初めての「準優勝」の成績を収めました。また、日本リーグにつきましては、昨シーズン1部から2部へ降格してしまいました。2月に東京都立川市で開催される入れ替え戦に向けて選手一同燃えております。

引き続き皆様の温かいご支援ならびにご声援を賜りますようお願いいたします。

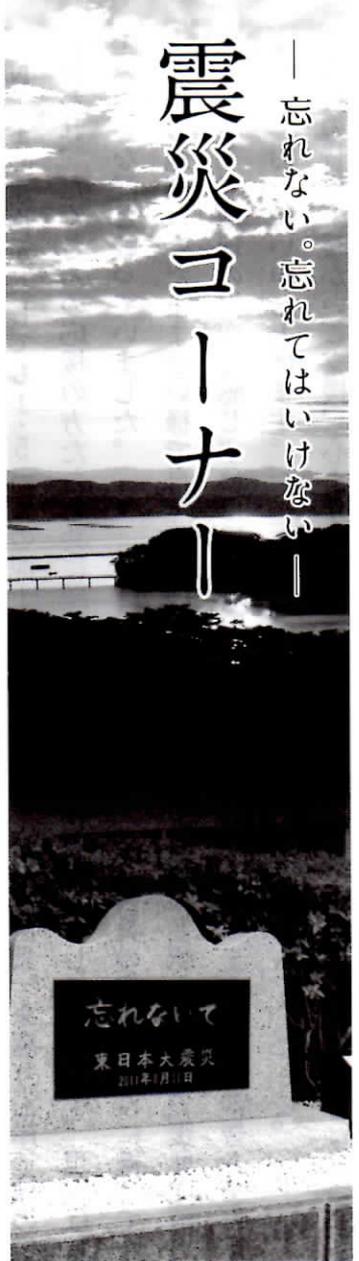
（スポーツクラブ後援会事務局長）



賞状を手にする選手・監督
（いわて国体）

— 忘れない。忘れてはいけない —

震災コーナー



◎平成28年台風第10号に寄せて

「お見舞い、ご支援に感謝」

宮古地区電友会

台風と言うと沖縄か九州地方のことばかりと信じきっていた感があります。まさか東北しかも宮古地方に上陸するなど考えも及ばぬ事でした。有史以来の事とか。前日の強い風雨でも明日になったら、台風一過ぐらいに誰しも思っていた事でした。が、小さな川と言う川に（大きな川は勿論のこと）、山からの土砂を混じえた大木や土石流が襲い、宮古、岩泉地方を中心に甚大な被害をもたらしたのです。「山津波」です。テレビなどの報道で9名の老人が亡くなった施設のあった岩泉地区は川が合流するところで、大きな災害となりました。こんな場所に老人施設がと言った評をする人もありますが、こんな穏やかで広

い場所が他にあるでしょうか。パークゴルフ場のある美しい芝のグラウンドに宮古地区の会員も利用させて頂いています。楽しい豊富な品が並ぶ道の駅、南部牛追唄のコンクールが見られる野外ステージ、山裾に並ぶキャビン、薬膳料理のレストラン等々、数々の施設がゆるやかに流れる清流に沿って集合している地なのです。なのに一瞬にして山、川の土石流に吞まれ、泥土の下となったのです。岩泉のOBは10数名おりますが、被災した会員に対し皆様からの暖かい励ましとお見舞いをいただき心より感謝いたします。ありがとうございます。避難先で過ごしていた会員は涙を見せ、初めて泣いたと言って地獄のような恐ろしさで、張りつめていた気持ちに一瞬でも役立ったかなと会長と共に同行した旧友達とジーンとしたひと時でした。未だ仮設住宅で過ごす会員と、泥と格闘している会員はこれから寒さに向かう時季、健康を心が

け過ごされますよう頑張ってください。

岩泉町は東京23区よりも広い町ですが、「山紫水明」と言う言葉がぴったりの酪農、林業、農業のさかんな地です。日本三大鍾乳洞の一つ「龍泉洞」は観光の名所として白い洞窟から流れる豊富な水は名品で、産業の担い手でもあります。しかし、この日の豪雨に、黒い濁流が洞窟から噴出する様は身体の震える思いだったと、近くの高台に住んでいる会員のSさんが話してくれました。洞窟の中も一時は再起不能かと報じられましたが、今では静かな佇まいに戻っているようです。間もなく観光客も訪れることでしょう。岩泉町はこの「美味しい水」と「ヨーグルト」がブランド品で地元より東京のデパートで高価な値段で売れていると云う逸品で知られています。酪農家の被害も甚大で、名品のヨーグルトの再現は少し時間がかかると報じられています。元の町に戻るのはいつの事でしょう……。

3・11から5年半。宮古を始め沿岸地方は復興どころか未だ未だ更地が殆んど海は見えなくなる城砦のような防潮堤の工事が行われ、市民からは反対の声が多いにもかかわらず、大きなダンプが街中を連なり工事が行われています。住居は高台に移転され、なんとも云われない不調和な町が出現するのではないかと

と、未来をおもんばかっています。「海の見えない海の町」に造られています。!?

こんな時に台風10号が襲いました。何故、こんなに「神」？は痛めつけるのでしょうか。何という試練？でしょう！宮古地区の会員で2度の被害を受けたSさん。東日本大震災の津波に家屋全部を無くしました。26年1・5m嵩上げてやっと自宅を再現しました。そこに今回の台風です。被害は幸い床下浸水に留まりましたが、車2台は泥の中に埋没。なんともお気の毒です。

宮古市内は川の氾濫で土砂が町中を覆い、次の日は乾いた泥土が風に舞い、黄砂のような日が続きました。主要道路は寸断されて、県庁のある盛岡迄がいつもの3倍の遠回りの有様でした。現在国道106号は3ヶ所が決壊した道路の修理のため片側通行でいつもの所要時間が30分程オーバーするなど未だ未だ復興には時間がかかるようです。

NTTの建物が又しても1・5m程の泥土に襲われ、たくさんの方たちと共に壁土みたいな泥と戦っていました。

熊本の地震は今だ止まない様で自然災害の恐ろしさと、地球の異変を感じずには居られません。お見舞い申し上げます。

会員の皆様の暖かいご支援、心より感謝い

たします。被災の皆様からのくれぐれもよろしくとの意をお伝え致します。有難うございました。



泥かきボランティアをする中学生たち
9月2日日本町(宮古)にて

(台風10号の被害に遭われた会員の皆様にお見舞い申し上げます。本原稿は地区だよりに掲載いただきましたが本コーナーに掲載させていただきます。東北地方本部)

◎復興定点観測の紹介

東北地方本部では、東日本大震災からの復興状況を電友会HPでも紹介して行こうと、会員から「定点観測員」を募り沿岸地域の復興状況を写真で紹介しております。現在は石巻フォトクラブ会員の齋藤勇さんに撮っていただいたJ・R新東名駅と開発中の復興団地の状況を掲載しております。会員の皆さまも是非一度チェックしてみてください。

(東北地方本部HPアドレス (<http://>

denyuhoku.com)から「電友会「心の交流会」写真が語る「被災地の今」をクリック)

お知らせ

◎「熊本地震義援金」ご協力の御礼

平成28年4月14日に発生した熊本地震は、その後の余震も長引き大きな被害をもたらしました。5年前の「東日本大震災」を経験した私達には人ごとには思えず、本部からの要請も踏まえ、早速、義援金をお願いを致しましたところ、会員の皆様からは195万4000円ものご厚意を寄せていただきました。誠にありがとうございました。

28年9月末に金額を電友会本部あて送付致しましたので、本欄にてご報告申し上げます。御礼とさせていただきます。

なお、地区別の義援金額等詳細は支部を通じてお知らせしております。

熊本地震義援金 (東北地方本部) (28.9.29現在)

支部	会員数	義援金(円)	記 事
宮 城	2,380	658,807	宮城支部(10万円含む)
福 島	806	180,376	
岩 手	1,293	163,217	この他、退職者の会と共同で実施分あり(一関地区)
青 森	442	63,042	青森支部(6,610円含む)
山 形	1,001	334,924	
秋 田	379	53,806	
地方本部		500,000	
東 北 合 計	6,301	1,954,172	会員数は27年度末

賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は日本コムシス(株)東北支店様、テルウェル東日本(株)東北支店様、NTTソルコ&北海道テレマート(株)東北支店様です。



日本コムシス(株)
東北支店
苫米地 弘之

最近は読書、映画鑑賞、
ゴルフを楽しんでいます。

日本コムシス(株)の苫米地です。少々スペースを頂き会社の紹介をしたいと思えます。

ご存知のとおり、旧名は日本通信建設(株)ですが1990年にこの社名になりました。1951年の発足から65年間、通信設備や民需系の建設工事を営んできました。実は東北では秋田支店が1973年に発足し、その後1982年に東北支店が発足しています。現在は仙台に東北支店、各県域に工事事務所を置き通信設備、IT系、社会基盤系の建設工事を中心に仕事をしています。

これからも皆様の力をお借りして事業運営に頑張りたいと思えますのでよろしくお願いたします。

さて、以下私事です。これと言った趣味も無いつまらない男ですが、加齢と共に最近好んでやっているのは読書、映画鑑賞とゴルフくらいのものであります。

読書は月5冊、映画は年間で40本くらいを観ます。ゴルフについては年間10回くらいが限界です。8年前に背骨を悪くして4年に1度のペースで手術をしています(オリンピック周期)。現在は背骨にチタン製のボルトが4本と固定用プレートがガッチリ2枚入っています。肉体的には大変厳しい状態ですが、不思議と手術の都度ゴルフのスコアが良くなっています。思い

つきりスイング出来ないのが功を奏してスコアがまとまりはじめて来ました(明らかにまぐれ)。

チタン製の金物が身体に入ったからと言ってドライバーの飛距離が伸びることはありませんが、ゴルフに対して真摯かつ丁寧に取り組めばスコアが良くなることをこの年齢になって学びました。

年齢を重ねると身体能力や頭脳が衰えてきますが悪いことではありません。

読書の速度は低速ですがシツカリ考えながら読む楽しみが出来るようになりました。また、映画は60歳からはいつでも1100円になりますし、ゴルフも楽しみながら出来るようになります。

また、最近初孫が出来て大変うれしく思っています。これも相応の年齢に達しているという自覚をもたらしてくれました。ただし、私は携帯の待受画面に孫の写真を使う人間ではありません。

現在はおかげさまで仕事を頂いていますが年齢と共に様々なことを味わいながら生活するという事を学びつつ、一部加齢に抗いながらこれからも一生懸命頑張りたいと思っています。これからも引き続きよろしくお願いたします。



テルウェル東日本(株)
東北支店
小野寺 仁

10月で満60歳を迎えました。退職後は
目指せ「山にも登れる太公望」です(笑)。

テルウェル東日本(株)東北支店には27年6月に着任し、早いもので1年4ヶ月が経ちました。当支店は清掃・警備・食堂運営・什器販売・事務所移転やレイアウト変更請負・電柱広告等の従来業務に加えて、最近ではアセットプランニング事業(社宅等のリノベーションによる提供)・介護事業・NTTグループ社員の引越し受付業務・事務用品のネット販売(買いやすnet)、ECサイトでの物販(てるうえるeスト)等幅広く事業を展開しています。皆さんがあまりご存知ない事業では金融機関等へ「非常通報機」という100番・119番に直結するサービスも提供しています。NTTグループ各社の皆様の「サポーター」あるいは「パートナー」として今後も共に歩んでいく所存ですので、何時でも何なりとご用命いただければと思います。

個人的な話になりますが、仙台には平成13年に秋田に転出して以来、15年振りに戻ってきました。学生時代を過ごし、結婚して家庭を持ち、家を購入した地で再び暮らせる幸せを噛みしめている今日この頃です。生来が飽きっぽい性格ですが、釣りと旅行だけは若い頃から今まで続いている趣味です。気仙沼に生まれ、千葉県銚子に勤務し、東北においても宮城・福島・秋田で仕事をしたので、釣りをする環境には恵まれてきました。私の釣りは主にシロギスやアイナメ狙いの投釣りです。若い頃三陸沖で鱈釣りをした時にひどい船酔いになってから船はトラウマになり、もっぱら岸壁や堤防といった場所からの釣りが専門になりました。いろいろな思い出がありますが、秋田にいた頃仕事納めの翌日12月29日に吹雪が舞う中、男鹿の船川漁港でハタハタ釣りをした事が一番の思い出です。釣りバカを絵に描いたような話ですが、危うく凍傷になりかけ、インフルエンザに罹り、医者から安静を命ぜられて、正月の帰省もままならなくなりました。バカに付ける薬はないと言う、まさにそれを地でいくような釣りでした。先輩諸氏に黒鯛やアイナメなどの釣りのテクニクも教えていただきましたが、嫌になるほどフグを釣ったことも思い出です。

また、旅のほうは目的地を決め日程を組んでガイドブックを作成して共に楽しむというのが私流です。東京に勤務していた頃は部下達と秋田・千葉・茨城・新潟等たくさん旅行しました。今は体重が災いして無理ですが、若い頃に初めて行った「尾瀬」の幻想的な風景が忘れられず、その後も何度も行きました。東北一高い燧岳や至仏山にも登りました。

10月で満60歳を迎え、還暦の歳になりましたが、退職後は「山にも登れる太公望」を目指して元気に過ごしたいと考えています。



NTTソルコ&北海道テレマート(株)

東北支店

吉住 齋

趣味のDIYで物置きを制作!月1回程度
地元の鶴岡へ癒されに行っています。

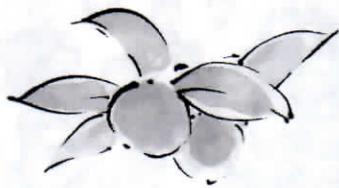
いつもお世話になっておりますNTTソルコ&北海道テレマート(株)東北支店の吉住です。弊社の紹介を若干させて頂きます。設立は昭和61年1月20日で、30年余りの歴史を有するコンタクトセンター事業者です。コンタクトセンター業界もフリーダイヤルの普及、インターネットへの広がりにより大きく姿を替え、現在においてはスマートフォンへの利用拡大、SNSなどの普及、更にはAIの発達等により大きな時代の変わり目にさしかかっております。弊社においても顕在化しつつある革新を遂げるため、平成28年10月1日に子会社であるエヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)と合併し、NTTソルコ&北海道テレマート(株)としてスタートしています。合併後の本社(本店)は札幌本社とし、首都圏並びに全国への営業機能とオペレーション支援機能を有する東京オフィスを東京本社とし、引き続き事業拡大に向け取り組みを進めていきます。東北支店は今までどおりですので、今後ともよろしくお願いたします。

さて、私自身のことですが、28年の4月1日から東北支店に配属されました。私自身としては、2回目の配属となります。生まれは山形県

鶴岡市で、現在は宮城県大崎市住まいです。趣味は下手の横好きと申しますとおり、DIYでの物づくりで、これまで声を大きくして言えるものは、物置を作ったことくらいです。(妻は無感心!)

大崎住まいは、19年になりますが、生まれが鶴岡ですので、施設に預けております母親の様子を見ながら、月1回程度、おいしい蕎麦やラーメンを食べながら、時には草取りなどに出かけております。自然豊かな田園風景、鳥海山や月山の雄大な姿を見ると気持ちも落ち着きストレス解消方法にも繋がっているのかなと思っております。

最後になりますが、今後は公私共に厳しい環境が待っていると思いますが、挫けることなく今までどおり、しっかりと小さな目標を立て、その目標を1つ1つクリアしていきたいと考えております。



東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎支部長・事務局長会議開催

28年7月21日、NTT五橋ビルにおいて開催。ボランティア活動賞、地方本部長賞の推薦、ボランティア物品支援、定期報告の改正、会報79号の発行等について審議、決定しました。



支部長・事務局長会議

◎第3回女性の会への参加

28年9月14日～15日、本部において開催。東北からは、藤枝美津子さん（五ッ橋クラブ）が参加。各地域での取り組み等について話し合いました。



グループ討議



第3回女性の会参加の皆さん

◎気仙沼大島 海岸林再生活動への参加

平成28年7月2日、NTT（持株）CSR推進室主催のボランティア活動に、小野寺本部長始め宮城支部10名（五ッ橋3、石巻4、気仙沼3）、岩手支部（二関5名）が参加しました。ご協力ありがとうございました。



気仙沼大島 海岸林再生活動



元気に活動開始だー！



みんな笑顔で！作業がんばるぞ！

◎電友会ボランティア活動賞受賞

28年11月25日、本部主催の表彰式が「KK Rホテル東京」において行われました。

東北の受賞者は次の方々です。

・第26回ボランティア活動賞

田中正司さん（青森支部）

「青森県被爆者の会で社会福祉活動中」

戦時中、広島船舶通信隊に配属され被爆。

昭和58年から被爆者の会会員として活動を開始し、講演会等を通じ原爆の悲惨さや平和の

尊さを伝えていく。現在は会長として「被爆

者が訴える核兵器廃絶国際署名」等の社会福

祉活動に取り組んでいる。

高橋信一さん（岩手支部）

「視覚障がい者へのデジタル図書作成ボランティア活動」

平成10年からデジタル録音図書編集活動

に参加。その後、編集ソフト習得のためのボ

ランティア組織「デジッ岩手」を立ち上げ

リーダーとして16年間に亘り録音図書の作成

やボランティア活動者の養成に携わる等社会

福祉活動に多大の貢献をしている。

鹿間文蔵さん（山形支部）

「楽しみながらこの町を誇りに思うガイド目指して」

平成9年より寒河江市「さくらんぼの里ガ

イドの会」の観光ガイドとして活動。また、「や

まがた観光ボランティアガイド協議会」の役

員として「ガイド力」の向上に尽力。これら

の取り組みが功を奏し「ガイドの会」は年間650人の稼動を提供できるまでに成長し地域振興に大きく貢献している。



東北の受賞者の皆さん

◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高齢者叙勲

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

瑞宝双光章 岩手 和井内和夫様

宮城 川上清様

宮城 廣居正彦様

宮城 蟻坂四平様

（平成28年7月～28年10月まで）